

目 次

【国土交通省、富山県（土木部）】

- 1. 交通安全施設等整備事業の推進(県道)..... - 1 -
- 2. 通学路等の安全確保(町道)..... - 2 -
- 3. 広域連携強化のための道路整備の推進
（観光地へ連絡する道路整備の推進）..... - 3 -
- 4. 空き家対策の推進..... - 4 -

【国土交通省】

- 5. 安全で安心できる災害に強い国土づくりの推進..... - 5 -
- 6. 常願寺川水系直轄砂防事業の推進..... - 6 -

【国土交通省、富山県（土木部）】

- 7. 砂防事業の促進(県事業)..... - 7 -
- 8. 地方の道路維持のための予算確保..... - 8 -
- 9. 雪害のない安全・安心のみちづくりの推進..... - 9 -
- 10. 都市公園施設の維持管理のための予算確保..... - 10 -

【国土交通省】

- 11. 都市構造再編集集中支援事業の促進..... - 11 -

【国土交通省、富山県（生活環境文化部）】

- 12. 地籍調査事業の予算確保..... - 12 -

【国土交通省、富山県（厚生部）】

- 13. 水道施設整備に係る財政支援..... - 13 -

【国土交通省、富山県（交通政策局）】

- 14. 地域公共交通再構築事業(社会資本整備総合交付金)[新規要望]..... - 14 -

【環境省、富山県（生活環境文化部）】

- 15. 浄化槽設置に関する事業の促進..... - 15 -
- 16. クマ被害防止対策の充実と強化[新規要望]..... - 16 -

【環境省、富山県（生活環境文化部、観光推進局）】

17. 中部山岳国立公園「歩くアルペンルート」
及び中部北陸自然歩道の整備・維持管理 - 17 -

【消防庁、富山県（危機管理局）】

18. 弥陀ヶ原火山の防災対策の推進（技術的・財政的支援） - 18 -

【総務省・国土交通省】

19. 地域鉄道の再構築に対する地方財政措置の拡充について[新規要望] - 19 -

【総務省、富山県（地方創生局）】

20. 辺地地域における人口減対策に向けた辺地対策事業債の予算確保 - 20 -

【総務省、林野庁】

21. 林道事業への財政支援 - 21 -

【林野庁、富山県（農林水産部）】

22. 林道災害復旧事業の促進 - 22 -
23. 木造公共施設整備の推進[新規要望] - 23 -
24. 治山事業の促進 - 24 -

【農林水産省、富山県（農林水産部）】

25. 県営農業農村整備事業の新規採択 - 26 -
26. 県営農業農村整備事業の継続促進 - 27 -
27. 中山間地域の振興及び鳥獣被害防止対策の充実と強化 - 28 -

【文部科学省】

28. 学校施設危険改築等に係る補助単価の引き上げ - 31 -

【富山県（土木部）】

29. 県道富山立山公園線の全線4車線化の早期整備及び県道昇格 - 32 -
30. 緊急輸送道路沿道における立木伐採の推進 - 34 -

【富山県（土木部、経営管理部）】

31. 県管理河川に架かる管理者不明橋梁の橋梁トリアージの実施[新規要望] - 35 -

【富山県（土木部、生活環境文化部、観光推進局）】

32. 称名滝までの観光ルート of 安全対策の促進..... - 36 -
33. 称名地区の持続可能な管理体制の構築[新規要望] - 37 -

【富山県（生活環境文化部）】

34. 立山駅周辺の環境整備・安全対策と予算確保
 (1) 千寿ヶ原駐車場内の樹木剪定や防除、伐採のための予算確保..... - 38 -
 (2) 富山上滝立山線のサル対策..... - 39 -

【富山県（農林水産部）】

35. 豚熱まん延防止対策事業(捕獲強化活動費)の継続..... - 40 -
36. 農業用水路安全対策事業の推進 - 41 -

【富山県（厚生部）】

37. 救急搬送における選定療養費の運用 - 42 -

【富山県（教育委員会）】

38. 雄山高校の存続と魅力向上施策の推進 - 43 -

【富山県（富山県警察本部、経営管理部）】

39. 信号機の予算確保
 (1) 通学路の安全確保 - 44 -
 (2) 企業団地の車両通行の円滑化..... - 45 -

1. 交通安全施設等整備事業の推進（県道）

（国土交通省・富山県）

県道立山水橋線の日俣地内は、中学生や小学生の通学路となっていますが、歩道が設置されておらず、歩行者と自動車の接触のおそれが頻繁に生じているため、地区住民から歩道整備の強い要望をいただいています。

また、県道富山立山公園線は、令和6年3月に富立大橋が4車線化して以降、交通量が著しく増加しており、田添地内においては、歩道が設置されていないことに加え、路肩も狭く、**立山町で最も危険な通学路**と認識しています。

つきましては、通学児童・生徒及び沿線住民の安全性向上のため、**歩道整備や路側帯のカラー舗装等の安全施設整備、道路照明施設の増設**について、格段のご配慮をお願いします。

- | | |
|---|--------|
| 1. 県道立山水橋線歩道整備（日俣 ^{ひまた} 地内） | （継続促進） |
| 2. 県道富山立山公園線歩道整備（田添 ^{たぞえ} 地内） | （継続促進） |
| 3. 県道岩峯寺大石原水橋線歩道整備（蔵本 ^{くらもとしん} 新地内） | （継続促進） |
| 4. 県道立山舟橋線路肩拡幅整備（利田 ^{りた} 日水 ^{ひみず} 地内） | （継続促進） |



1. 県道立山水橋線（日俣地内）



2. 県道富山立山公園線（田添地内）



3. 県道岩峯寺大石原水橋線（蔵本新地内）



4. 県道立山舟橋線（利田日水地内）

2. 通学路等の安全確保（町道）

（国土交通省・富山県）

立山町では、平成26年に「立山町通学路等安全推進会議」を設置し、通学路の危険箇所について、学校関係者や道路管理者、警察等と連携して合同点検を行っています。また、園児の散歩コース等も点検の対象に加えた「通学路等交通安全プログラム」に基づき、歩道整備や路側帯のカラー舗装等の安全対策に取り組んできたところです。

そのような中、未だ安全が確保されていない路線においては、保護者をはじめとする地区住民から安全対策への強い要望をいただいています。

つきましては、児童・生徒等の安全性向上のため、**歩道整備や路側帯のカラー舗装等**に必要な予算の確保、さらに**道路照明施設の設置補助制度の創設等**、通学路等の安全対策を積極的に進められるよう要望します。

（主な箇所）

1. 町道下田東中野新線路肩拡幅整備（^{みやじ}宮路地内）（継続促進）
2. 町道野町高原線路肩拡幅整備（^{のまち}野町地内）（継続促進）



1. 町道下田東中野新線（宮路地内）



2. 町道野町高原線（野町地内）



横断歩道のカラー舗装による対策例
（町道日中田添線）



道路管理者、学校関係者、警察等が
実施する合同点検

3. 広域連携強化のための道路整備の推進 (観光地へ連絡する道路整備の推進)

(国土交通省・富山県)

県道富山立山公園線は、富山市及び北陸自動車道立山インターチェンジと立山黒部アルペンルートを連絡する広域的な幹線道路であり、物流、観光道路として利用されることから大型車両が多く通行しています。さらに、令和6年度からはインバウンドの回復に伴い、**観光バスの通行量が増加**しています。しかしながら、坂井沢、横江、芦峯寺地内において道路幅員が狭いことから、**大型車両同士のすれ違いが困難**な状況となっています。

つきましては、次の県道のさらなる整備促進に必要な予算を積極的に充当されるよう格段のご配慮をお願いします。

- | | |
|--|--------|
| 1. 県道富山立山公園線 (坂井沢 ^{さかいざわ} 地内) | (継続促進) |
| 2. 県道富山立山公園線 (横江 ^{よこえ} 地内) | (継続促進) |
| 3. 県道富山立山公園線 (芦峯寺 ^{あしくらじ} 地内) | (継続促進) |
| 4. 県道立山水橋線 (下田・宮路 ^{みさだ みやじ} 地内) | (継続促進) |
| 5. 県道富山立山公園線 (芦峯寺 ^{あしくらじ} バイパス) | (新規要望) |



① 県道富山立山公園線 (坂井沢地内)



④ 県道立山水橋線 (下田・宮路地内)



② 県道富山立山公園線 (横江地内)



③ 県道富山立山公園線 (芦峯寺地内)

⑤ 県道富山立山公園線 (芦峯寺バイパス)

4. 空き家対策の推進

(国土交通省・富山県)

人口減少や少子・高齢化の進展に伴い、空き家の増加が問題となっています。平成27年に「空き家等対策の推進に関する特別措置法」が施行され、町においては、立山町空き家等対策協議会を設立するとともに、立山町空き家等対策計画を策定し、対策に取り組んでいます。

具体的には、平成30年度から令和7年度までの8年間で、国の空き家対策総合支援事業を活用し、**特定空き家等の代執行を8件**実施したほか、**79件の空き家等所有者の除却費用に補助金を交付**しています。

近年、空き家の除却や敷地内の除草費用等が高騰しており、空き家等所有者の建物除却や適切な管理が、より困難なものになっています。町民から空き家に対する苦情、相談が数多く寄せられており、今後も空き家等対策事業費の増加が見込まれます。

つきましては、**空き家の実態把握調査や対策計画の策定、代執行の除却費など行政への助成とともに、空き家等所有者への除却・利活用助成など、財政支援のさらなる充実**をお願いします。

(継続要望)



特定空き家の代執行宣言



略式代執行（令和4年11月）

5. 安全で安心できる災害に強い国土づくりの推進

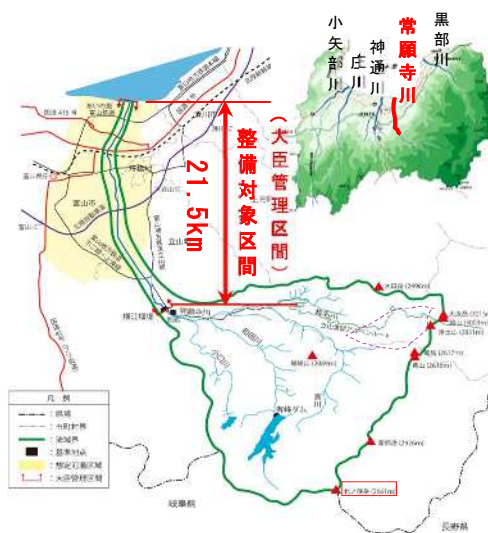
(国土交通省)

日本有数の急流河川である常願寺川では、安政5年(1858年)の飛越地震により、上流域の大鳶山、小鳶山が大崩壊(「鳶崩れ」)し、大土石流が富山平野を襲いました。そして、立山カルデラには今なお約2億 m^3 の土砂が堆積し、降雨ごとに大量の土砂が流出し続けています。

また、近年は全国各地で集中豪雨による大規模な自然災害が頻発しており、沿川に多くの重要水防箇所や要注意箇所を抱える立山町としても「常願寺川水系流域治水プロジェクト2.0」の推進が不可欠です。

つきましては、令和7年6月に策定された「**第1次国土強靱化実施中期計画**」に基づき、継続的に急流河川対策や堤防強化、樹木伐採などの河川の維持管理を実施していくため、十分な予算の確保を要望します。

(継続促進)



常願寺川流域



常願寺川水系流域治水
プロジェクト2.0資料(抜粋)



急流河川対策(着工前)



急流河川対策(着工後)

立山町日置地内

6. 常願寺川水系直轄砂防事業の推進

(国土交通省)

立山カルデラ内は、安政5年(1858年)の飛越地震により崩落した鳶山由来の不安定な土砂が今もなお堆積する、日本有数の重荒廃地域です。

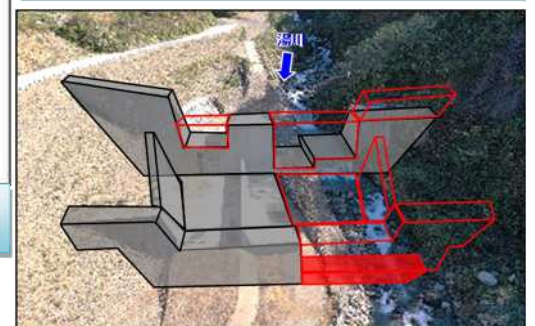
直轄砂防事業が開始され、**令和8年(2026年)**に**100年の節目**を迎えました。現在、砂防施設として初めて重要文化財に指定された白岩砂防堰堤を含む常願寺川砂防施設群をはじめ、砂防施設の整備が着実に進められた結果、**下流域の富山平野の治水安全度が向上**しています。

つきましては、土砂災害対策事業のさらなる推進により国土強靱化の取組をさらに進めるため、令和7年6月に策定された「**第1次国土強靱化実施中期計画**」に基づき、**常願寺川水系直轄砂防事業を積極的かつ継続的・安定的に推進**することを要望します。

(継続促進)



常願寺川水系直轄砂防事業の基幹堰堤
白岩砂防堰堤



施工中の堰堤(湯川第15号砂防堰堤)
※ ■ : 令和8年度施工箇所

7. 砂防事業の促進（県事業）

（国土交通省・富山県）

立山町は、全国でもまれに見る急流荒廃河川の常願寺川と、二級河川白岩川を有しており、流域一帯は毎年甚大な土砂災害の被害を受けています。つきましては、次の事業の促進を要望します。

1. 砂防事業

【常願寺川水系】

ざっこくだに あしくらじ
雑穀谷（芦峯寺地内）（継続促進）

あずきだに あしくらじ
小豆谷（芦峯寺地内）（継続促進）

【白岩川水系】

くだらしだに とちづ
下嵐谷（栃津地内）（継続促進）

なかたにがわ たに
中谷川（谷地内）（継続促進）

2. 地すべり防止事業

あしくらじ
芦峯寺地内（継続促進）

3. 砂防メンテナンス事業

ざっこくだに あしくらじ
雑穀谷（芦峯寺地内）（継続促進）

よこえだに よこえ
横江谷（横江地内）（継続促進）

ちがき
千垣地内（継続促進）



雑穀谷 14-1 号堰堤



中谷川復旧状況



千垣地内法面崩壊状況

8. 地方の道路維持のための予算確保

(国土交通省・富山県)

立山町には、昭和34年から昭和60年頃に建設された橋や、**地元集落等で設置**した道路橋を町道路線として認定したため、**設置年度すらわからない橋**が多くあります。

当町では、国の財政支援を受けて、急速に進展する橋の老朽化に対応するため、定期点検と個別施設計画に基づく予防保全型の修繕を進めています。令和8年3月までに**長寿命化工事が完了した30橋**においては、町民が安心して道路を通行できるようになりましたが、いまだ長寿命化対策の必要な橋は多く残されています。

つきましては、今後も着実に橋の長寿命化対策を進めるため、**第1次国土強靱化実施中期計画に基づき、国土強靱化の取組を継続的・安定的に進めるために必要な予算について、積極的に充当されるよう要望します。**

(継続促進)

- (主な箇所) 1. 町道泊新沢中山線
2. 町道沢中山末三賀線

- (雷鳥大橋)
(無名橋174)

橋梁長寿命化 町道橋318橋

【点検状況】

レベルⅠ(健全)	140橋
レベルⅡ	132橋
レベルⅢ	45橋
レベルⅣ	1橋

対策完了済み: 30橋

[令和8年3月末現在]



1. 町道泊新沢中山線
(雷鳥大橋) 平成13年架設
橋長278.6m、幅員10m



2. 町道沢中山末三賀線
(無名橋174) 架設年次不明
橋長3.7m、幅員6.7m



床版の漏水(雷鳥大橋)



床版の鉄筋露出(無名橋174)

9. 雪害のない安全・安心のみちづくりの推進

(国土交通省・富山県)

近年、地域の除雪事業を担う建設業者の除雪オペレーターの高齢化や担い手不足が進行していることに加え、気候変動の影響により、短時間で局所的に大量の雪が降る現象が頻発しています。

このような中、安定した除雪体制を維持するためには、除雪作業を支える担い手の確保が重要です。

当町では、**令和2年4月に除雪オペレーター育成補助金**を創設し、除雪事業者の**大型特殊自動車免許等の取得に対する経費の一部を補助**しているほか、県の補助事業を活用し、**除雪オペレーターを養成する講習会**を毎年開催しています。

つきましては、各道路管理者間の情報共有及び道路利用者への情報提供を充実させるとともに、**道路除排雪に要する経費への十分な財政支援**に必要な予算を確保されるよう要望します。

(継続促進)

立山町道路除雪延長：349km 消雪施設延長：19km
(雪寒路線延長：206km)



道路除雪状況（日中）



道路除雪状況（夜間）



道路排雪状況（ダンプトラック）



オペレーター養成講習会
(令和7年10月)

10. 都市公園施設の維持管理のための予算確保

(国土交通省・富山県)

立山町の都市公園の多くは昭和58年から平成9年頃にかけて設置しており、近年は施設の老朽化が進行し、多くの施設が更新時期を迎えることから、維持管理費の増大が懸念されています。

当町では「立山町公園施設長寿命化計画」に基づき、計画的な長寿命化対策に取り組んでおり、国の財政支援により立山町総合公園の四阿や多目的グラウンドの改修が完了し、多くの利用者に喜ばれています。

しかしながら、野球場やトイレ、埋設高圧ケーブルなど老朽箇所が数多く残っているため、引き続き**老朽化する都市公園施設の適切な維持管理及び長寿命化対策**などに必要な予算確保に、格段のご配慮をお願いします。
(継続促進)

令和2年度策定(令和7年度更新) 立山町公園施設長寿命化計画

対象公園：94箇所

(主な箇所) 立山町総合公園 野球場・トイレ・埋設高圧ケーブル等



11. 都市構造再編集中支援事業の促進

(国土交通省)

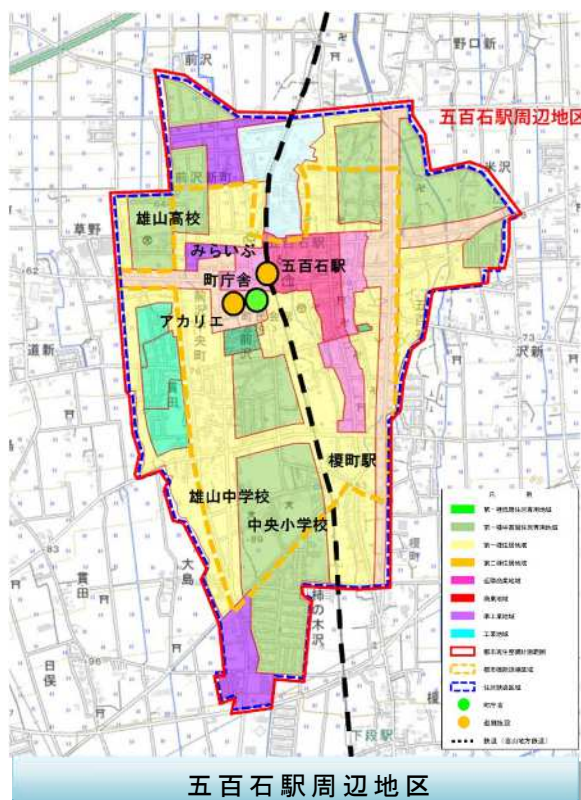
町中心部の五百石地区は、富山地方鉄道立山線「五百石駅」^{ごひゃっこく}を中心に、商店街が形成されるとともに、町役場や県立高校といった行政や教育の中心となっています。また、平成24年度には、都市再生整備計画事業により五百石駅と町保健センターや図書館を一体化した「町元気交流ステーション（愛称：みらいぶ）」を整備しました。さらに、令和6年度には「防災」と「子育て」機能を集約した「立山町防災児童館複合施設（愛称：アカリエ）」が完成し、都市の利便性が向上しています。

しかしながら、高齢化に伴い中心市街地としての活力が弱まり、空き店舗や空き家が増加している状況です。

つきましては、**立山町立地適正化計画に基づき、都市の機能性や居住環境の向上**を目指すため、引き続き、予算確保について格段のご配慮をお願いします。

都市構造再編集中支援事業 五百石駅周辺地区

(継続促進)



12. 地籍調査事業の予算確保

(国土交通省・富山県)

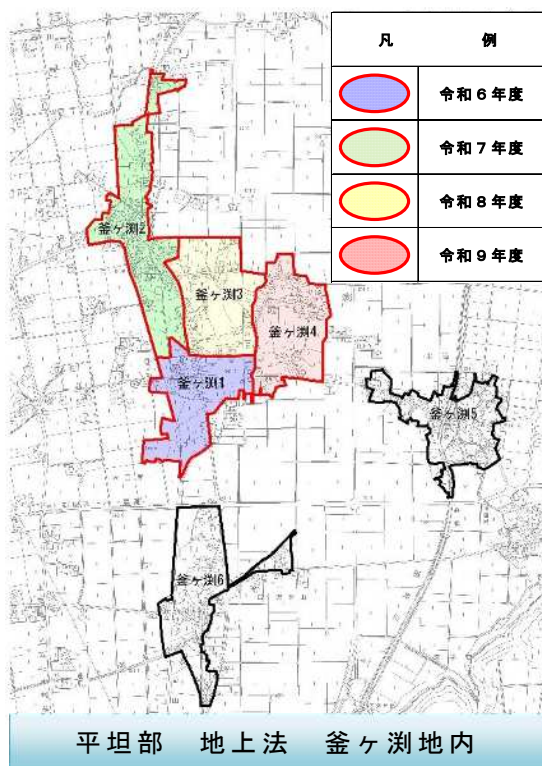
立山町では、国土調査事業十箇年計画を推進するため、地籍調査事業を平成23年度から町中心部で、平成26年度から山村部でそれぞれ実施しています。

しかしながら、町内の平坦部や山村部の大部分が、いまだ地租改正時に作成された公図を利用しており、境界が不明確な状況です。

かまがふち
釜ヶ淵地区では、境界が未確定であるため、不動産取引が難しく、高齢化も相まって空家等の増加につながっています。こうした空家等が相続放棄によって所有者不明となり、特定空家等となり果て、公費で解体せざるを得ない事態に陥っています。

つきましては、平坦部の釜ヶ淵地区について、地籍調査の予算の確保及び充当について、格段のご配慮をお願いします。

(継続促進)



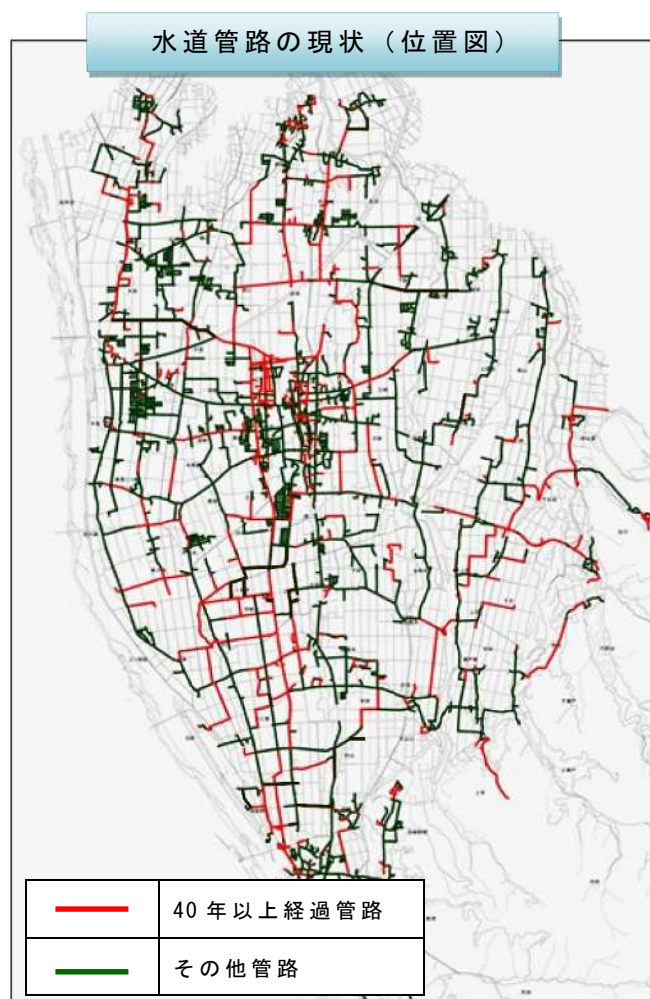
13. 水道施設整備に係る財政支援

(国土交通省・富山県)

立山町全体の水道管路総延長は約 300 kmあり、このうち**約 80 km (約 26%)**は法定耐用年数 **40 年を超える**水道管(老朽管)で、今後、更にその割合は増えていく見込みです。老朽管は大地震等の災害に耐えきれず破損することがあるため、災害発生時でも安全・安心に水道水を供給できるよう、耐震管への更新を行う必要があります。

このため、町では、令和元年度に「老朽管緊急更新整備計画(令和 10 年度までの 10 か年)」を策定し、**水道料金を値上げした**うえで老朽管更新を進めています。しかしながら、工事費にかかる**労務単価の上昇や資材価格の高騰**により計画どおりに進んでいないのが現状です。

つきましては、老朽管更新に対する**水道施設整備費補助金に係る財政支援**に格段のご配慮をお願いします。(継続促進)



【管路更新延長】

年 度	延長 (m)	事業費 (百万円)
令和 8 年度	610	99
令和 7 年度	450	132
令和 6 年度	699	174
令和 5 年度	1,152	197
令和 4 年度	1,509	180
令和 3 年度	1,535	158
令和 2 年度	1,269	172
令和元年度	719	65
合 計	7,943	1,177

老朽管布設替工事の施工状況



14. 地域公共交通再構築事業（社会資本整備総合交付金）

（国土交通省・富山県）

富山地方鉄道は、富山県東部の7市町村を沿線にもつ延長93.2kmの鉄道であり、本線、不二越・上滝線、立山線の3線区で構成されています。

なかでも、**立山町を背骨のように貫き、町民の生活路線**として、さらには**世界に誇る山岳観光地、立山黒部アルペンルートにつながる唯一の鉄道路線である『立山線』**は、立山町はもとより富山県にとっても重要な路線となっています。

富山地方鉄道株式会社の経営が極めて厳しい状況となり、まさに廃線の危機に陥った現在、『立山線』については、**沿線自治体（立山町、富山市）、富山県、富山地方鉄道株式会社と協議**をし、その重要性に鑑み、**存続に向けて合意**したところです。

これらを踏まえ、**令和9年度地域公共交通再構築事業（社会資本整備総合交付金）の導入**は不可欠であり、本事業の活用にご配慮をお願いします。

併せて、『不二越・上滝線』についても、富山市及び立山町が沿線自治体であり、生活路線として多くの通勤・通学者が利用しています。沿線住民の利便性確保のため、令和9年度地域公共交通再構築事業（社会資本整備総合交付金）の活用に関し、格段のご配慮をお願いします。

また、地域公共交通再構築事業における鉄道事業再構築実施計画認定の要件に、みなし上下分離による事業構造の変更が認められました。しかし、鉄道施設の整備事業に係る自治体負担分は莫大であり、**みなし上下分離方式を採用した場合でも条件を付すことなく、地方債の対象**としていただきますよう要望します。

（新規要望）

・地域公共交通再構築事業（社会資本整備総合交付金）の活用

『立山線』、^{ふじこし}『不二越・^{かみだき}上滝線』

- ・みなし上下分離方式採用の場合の自治体負担分に対する条件を付さない地方債充当

15. 浄化槽設置に関する事業の促進

(環境省・富山県)

立山町の汚水処理整備は、主に下水道による整備を進めてきました。

しかしながら、令和8年3月末現在、下水道未整備区域において、いまだ266世帯が汚水処理施設を利用できません。

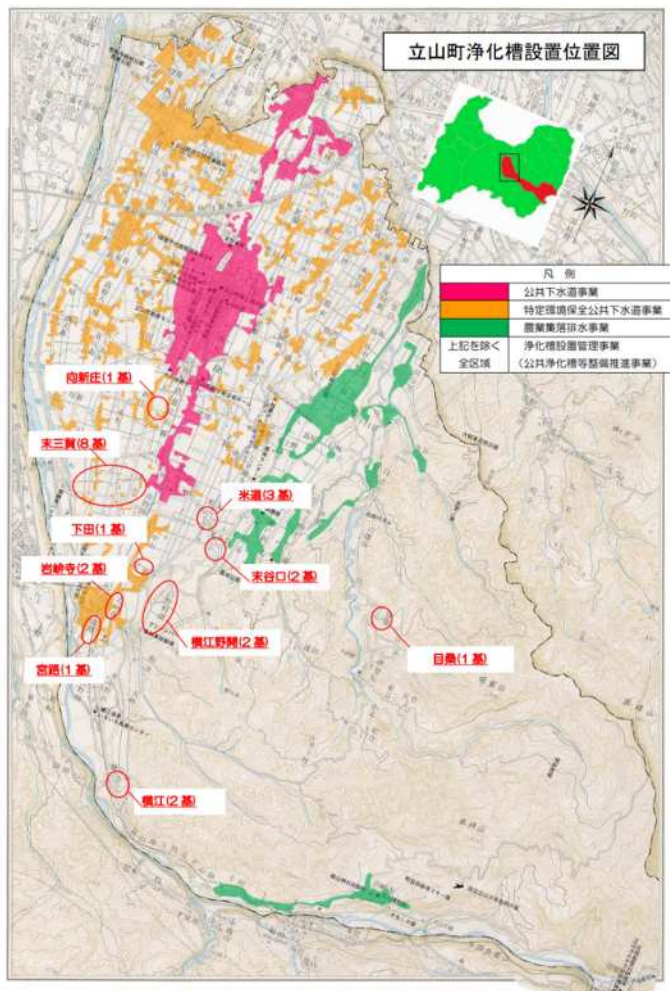
このため、下水道未整備区域を浄化槽整備区域とし、平成30年度からは循環型社会形成推進交付金事業における**浄化槽市町村整備推進事業に取り組み、合併処理浄化槽に転換**することで汚水処理の環境改善を進めています。

なお、**実際の浄化槽整備費は補助基準額を大幅に上回っているため**、事業を進めれば進めるほど町の財政負担が増加しています。

つきましては、**補助基準額の見直し及び予算確保**について、格段のご配慮をお願いします。

浄化槽設置に関する事業（循環型社会形成推進交付金）

(継続促進)



施工年度	設置基数
令和8年度	予定6基
令和7年度	2基
令和6年度	5基
令和5年度	1基
令和4年度	2基
令和3年度	5基
令和2年度	11基
令和元年度	2基

実績（令和7年度1基分）（円）

補助基準額	合併浄化槽整備費
1,038,000	1,662,100

合併処理浄化槽の設置状況



16. クマ被害防止対策の充実と強化

(環境省・富山県)

県内のクマ被害防止対策については、令和7年度、令和8年度における各市町村の捕獲許可申請について、エリアごとの申請から市町村全域での申請が可能となったほか、今秋より狩猟期間の延長が検討される等、近年の個体数増加を踏まえた対策がなされているところです。

しかし、令和7年度において、富山県の管理計画に定める年間捕獲上限数170頭に対し、捕獲頭数は397頭にのぼっています。令和8年度においても既に県内各地でクマの目撃情報が相次いでおり、当町では今年5月、県内有数の観光地である称名滝にて人身被害が発生する等、クマによる被害は過去に例を見ないほど深刻なものとなっています。

職員、猟友会、鳥獣被害防止対策実施隊が、管理計画に基づきながら被害防止対策に躊躇せず取り組むためにも、年間捕獲数の上限を撤廃し、実情に応じた適正な個体管理を行う必要があります。

また、クマの個体数管理に有効とされる春期のクマの捕獲ができるよう狩猟期間を延長するとともに、河川敷で出沒するケース等に備え市町村の枠を超えた広域的な捕獲ができる体制を国・県で整備し、迅速かつ効率的な対応がとれるよう支援が必要です。

つきましては、クマによる人的被害防止のため、以下の施策について進めることを強く要望します。

1. 富山県の管理計画の変更もしくは年間捕獲数の上限数の撤廃
2. クマの狩猟期間の延長、春期捕獲の充実・強化

(新規要望)

17. 中部山岳国立公園「歩くアルペンルート」及び中部北陸自然歩道の整備・維持管理

(環境省・富山県)

立山黒部アルペンルートの令和7年度の入込客数は、国内観光客が63万3千人(対前年比:106%)と順調に推移し、全体で84万5千人(対前年比:103%)となりました。

平成11年に旧立山登拝道を修復整備した「歩くアルペンルート」は、材木坂や八郎坂、ラムサール条約登録湿地弥陀ヶ原歩道など、魅力的なコースが多く、個人旅行客の周遊先やトレイルランニングコースとしても活用されています。

また、中部北陸自然歩道「越中瀬戸焼とグリーンパーク吉峰を訪ねるみち」は、起伏に富んだ自然や歴史・文化を活かしたルートであり、町内外の多くの方に利用されています。

しかし、かつて国や県によって整備された道標や看板等の老朽化が進んでおり、観光地としての魅力を損ねるだけでなく、安全面においても早急に対策する必要があります。

つきましては、老朽化した道標や看板等の撤去・更新に継続して取り組んでいただくとともに、優先的な予算確保に格段のご配慮をお願いします。

(継続促進)



老朽化した道標
(弥陀ヶ原周辺)



老朽化した看板
(岩峯寺駅周辺)

18. 弥陀ヶ原火山の防災対策の推進（技術的・財政的支援）

（消防庁・富山県）

立山黒部アルペンルートにある^{みだかはら}弥陀ヶ原火山（地獄谷）は、平成28年に「火山災害警戒地域」及び気象庁の常時観測火山に指定され、火山観測機器の整備や火山ガス検知警報システムの運用が開始されました。

平成30年度から消防庁の消防防災施設整備費補助金の対象に民間の山小屋の噴石対策経費が追加され、富山県でも同様の制度が創設されたことから、当町ではこれまでに山小屋5施設において、アラミド繊維で山小屋の屋根等を補強する噴石対策に取り組んできました。

しかしながら、依然、噴火時における噴石の影響が及びうるエリア内に噴石対策未実施の山小屋があること、対策を実施した設備の火山性ガスによる腐食などが懸念されることから、弥陀ヶ原火山の防災対策に対して、引き続き技術的・財政的支援を含め、格段の配慮をお願いします。

（継続促進）

【対策実績】

年度	施設名	総事業費
令和9年度（要望あり）	みくりが池温泉	未定
令和8年度（予定）	ロッジ立山連峰	64,322千円
令和7年度	雷鳥荘	96,257千円
令和6年度	（申請なし）	—
令和5年度	天狗平山荘	40,000千円
令和4年度	みくりが池温泉	92,746千円
令和3年度	ロッジ立山連峰	20,000千円
令和2年度	（申請なし）	—
令和元年度	立山室堂山荘	40,000千円
平成30年度	雷鳥荘	22,896千円



アラミド繊維張の屋根（R7 雷鳥荘）



屋根の仕上げ工程（R7 雷鳥荘）

19. 地域鉄道の再構築に対する地方財政措置の拡充について

(総務省・国土交通省)

富山地方鉄道は県東部の7市町村を結ぶ延長93.2kmの鉄道であり、本線、^{ふじこし}不二越・^{かみだき}上滝線、立山線の3線区で構成されています。中でも立山町を貫き、町民の生活路線であるとともに立山黒部アルペンルートにつながる唯一の鉄道である立山線は、本町や富山県にとって大変重要な路線となっています。

経営が逼迫し廃線の危機にある立山線については、沿線自治体(立山町、富山市)、富山県、富山地方鉄道株式会社が存続について合意し、現在、令和9年度の国土交通省「地域公共交通再構築事業」の採択に向け、実施計画の作成に取り組んでいます。この再構築事業における事業構造の変更においては、一般的に線路や電路、車両等の資産を自治体が保有・負担することになるため、**運行事業者の収支が改善される一方、自治体では新たな財政負担の発生となります。**

現行の地方財政措置においては、主に投資的経費を対象とするものであり、再構築後に生じる維持管理経費については、未だ十分な支援策であるとは言えません。特に、本町のような都市圏から離れ財政基盤が脆弱な自治体では、維持管理経費の負担が町財政を圧迫し、他の行政サービスの縮小を招くなど、納税者の理解と協力が得られない事態につながるおそれがあります。

鉄道は、地域住民の移動手段として医療、買物、通学等の生活基盤を支える重要な社会インフラであり、道路や公園等と同列に公共性の高い社会資本であると言えます。このような視点から、事業構造の変更を伴う利用促進や運行サービス水準の確保の取組みが持続可能なものとなるよう、維持管理経費も含めた恒久的な地方財政措置の拡充について、格段のご配慮をお願いします。

(新規要望)

- ・ 普通交付税における基準財政需要額（財政需要の補足）への算入
- ・ 特別交付税における算定項目に維持管理経費の追加
- ・ 地方債制度の拡充と充実

20. 辺地地域における人口減対策に向けた

辺地対策事業債の予算確保

(総務省・富山県)

立山町の辺地地域においては、空き家・耕作放棄地の増加や森林荒廃に伴う有害鳥獣被害の多発、さらに生活を支える基盤道路の老朽化、産業の衰退など、生活環境の悪化が危惧されており、その対策には、多額の財政負担が伴います。

つきましては、**辺地住民の生活基盤となる道路の長寿命化をはじめとした、安心して住み続けることができる生活環境の向上、辺地地域の産業の振興に向けた、土地改良事業や観光・レクリエーション施設の魅力向上など、公共的施設の総合的かつ計画的な整備を促進するため、辺地対策事業債の予算確保に格段のご配慮をお願いします。**

(継続要望)



	地方債計画額			立山町の辺地債 発行実績額
	過疎債	辺地債	合計	
R8	6,100	600	6,700	
R7	5,900	590	6,490	(同意額) 4.83
R6	5,700	570	6,270	1.67
R5	5,400	540	5,940	2.27

地方債計画における計画額の推移と立山町の辺地対策事業債発行実績（億円）

21. 林道事業への財政支援

(総務省・林野庁)

林道事業は、広域的な林道網の幹線として、地域林業の振興はもとより山村地域の生活環境の整備に大きく寄与しています。

一方、林道延長の延伸と比例して林道に係る維持管理費も大きく増加していることから、町の財政負担も大きくなっていますが、地方交付税においては、林道関係経費の算定が十分ではありません。

つきましては、林道事業の目的の達成と森林整備の継続的促進のため、**地方交付税における基準財政需要額に林道延長を測定単位とする「森林・林業行政費」を新設**していただきたく、格段のご配慮をお願いします。

(継続要望)

■ 立山町管理林道路線 30 路線

路線総延長 L=96.9km (うち清掃委託延長 L=93.1km)

8. 森林・林業・山村に係る地方財政措置の充実

(2) 町村における森林・林業行政の充実と、森林整備促進の実効性を高めるため、**地方交付税における基準財政需要額に「林野面積」(国有林野面積を含む)や「林道延長」を測定単位とする「森林・林業行政費」を新設**すること。

<全国町村会 令和9年度政府予算編成及び施策に関する要望(令和8年7月)より一部抜粋>



重機及び人力による側溝清掃作業

22. 林道災害復旧事業の促進

(林野庁・富山県)

立山町では、**令和5年6月28日**発生豪雨災害及び7月12日～13日発生豪雨災害により、甚大な災害が発生しました。

県内初となる「大規模災害査定」を活用し、126箇所[※]の国の災害査定を受け、原形復旧に向けて、関係機関と連携をしながら、災害復旧に全力を挙げて取り組んでいます。

本豪雨災害は、**令和5年8月30日に、激甚災害の指定**を受け国庫補助率の増嵩に対して、財政措置等講じていただいたところですが、引き続き林道災害復旧事業の継続促進について、格段のご配慮をお願いします。

また、「大規模災害査定」であるため、**被災状況の変状や新たな崩壊等も確認され「重要変更」**の手続きが生じていることから、引き続き弾力的な協議をお願いします。
(継続促進)



23. 木造公共施設整備の推進

(林野庁・富山県)

立山町では、公共施設の木造・木質化に積極的に取り組んでおり、これまでも地域材による木造保育園の建築やC L Tを用いた日射遮蔽ルーバーの設置等を実施しています。

しかしながら、木造公共施設の整備にあたり、木材生産量が少ない当町では、森林所有者へ伐採の同意を得てから、伐採、製材までに2か年以上の年数を要するため、現状の補助制度では地域材を最大限活用することが難しい状況です。

また、林業・木材産業循環成長対策交付金のメニューである木造公共建築物等の整備について、役場庁舎全体を対象とすることが難しいうえ、事業費の上限が実情に見合わないものとなっています。

これらの課題を解決し、地域材利用と木造公共施設の整備を推進するため、次の事項について格段のご配慮をお願いします。

(新規要望)

1. 地域材を活用する木造公共施設整備における複数年度事業の制度化
2. 複数年度にわたる予算措置の拡充及び基金制度の創設
3. 木造庁舎整備にかかる交付要件の緩和及び事業費上限の拡充



木造保育園（かがやき保育園）



C L T 日射遮蔽ルーバー
(防災児童館複合施設)

24. 治山事業の促進

(林野庁・富山県)

治山事業は、山地に起因する災害から町民の生命・財産を保全する重要な政策です。

一級河川である常願寺川右岸河岸段丘に位置する立山町の千垣地内では、令和5年6月及び令和6年7月発生豪雨により、**新たな山腹崩壊による土砂流出が多発し、溪岸浸食が進行**しています。

一方、常願寺川左岸河岸段丘に位置する本宮地区～千寿ヶ原地区間では、急峻で脆い地層からなる法面からの**雪崩・落石が頻繁に発生**しているとともに、**森林の管理不足による倒木も頻繁に発生**しています。

このことから、山村地域への緊急輸送道路である主要な県道や、立山黒部アルペンルートへ多くの観光客を輸送する富山地方鉄道立山線の通行がたびたび妨げられ支障が生じています。

つきましては、地域住民はもとより、観光客の安全確保のため、引き続き「復旧治山事業」「予防治山事業」を加速させるとともに、虫谷地内における「地すべり防止」、長倉地内における「緊急総合治山」等について、**治山事業が促進**されるよう格段のご配慮をお願いします。

1. 公共・復旧治山事業

2. 公共・予防治山事業

3. 公共・地すべり防止事業

4. 公共・緊急総合治山事業

5. 県単・治山事業

千垣ほか字奥道根りほか地内(R7～)

座主坊字村巻ほか地内(R7～)

本宮字割谷割ほか地内(R8～)

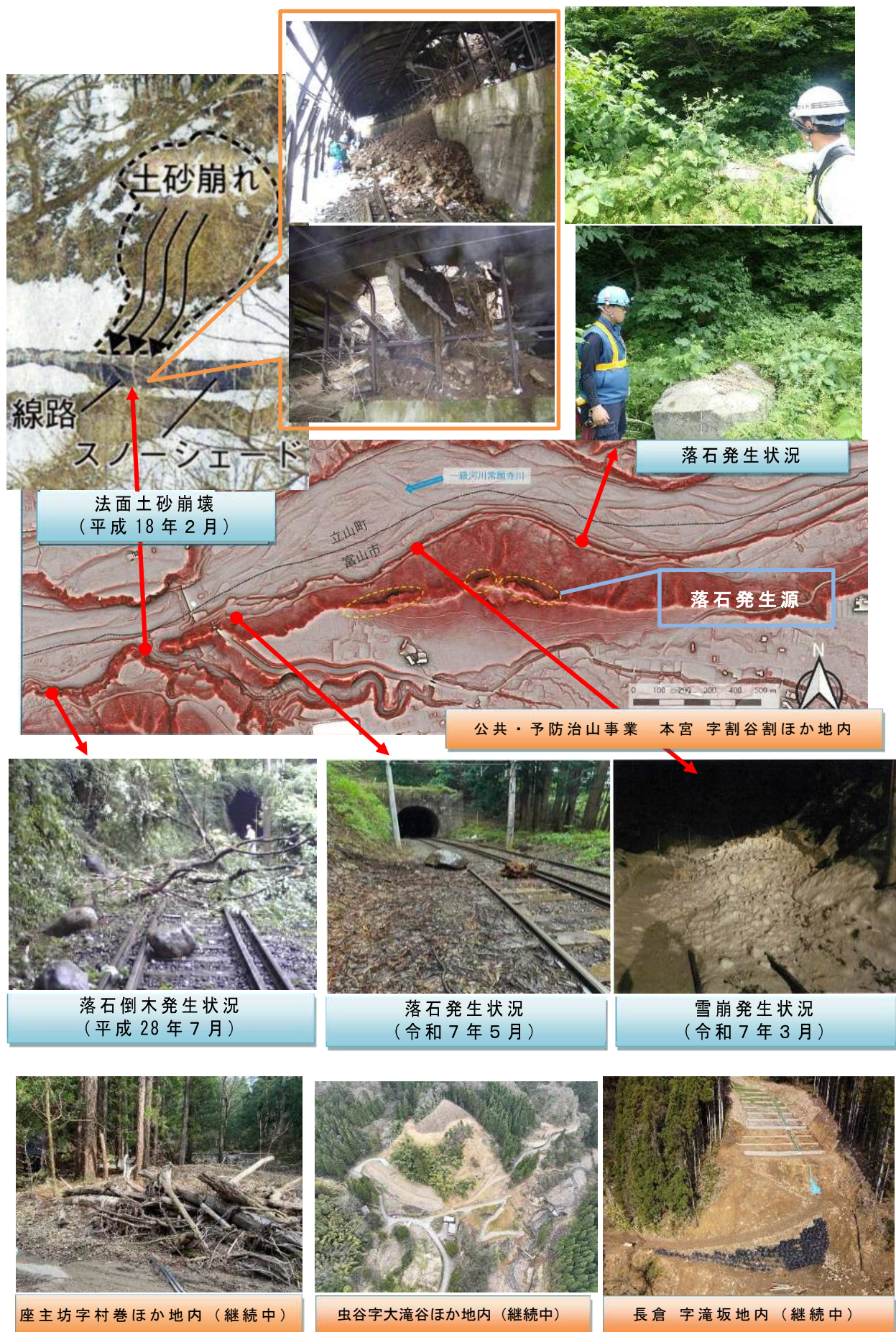
虫谷字大滝谷ほか地内(R2～)

長倉 字滝坂地内(R7～)

芦峠寺 字雑穀【称名滝遊歩道】

(継続促進)





25. 県営農業農村整備事業の新規採択

(農林水産省・富山県)

昭和40年から50年代に整備された農地では、用排水路の老朽化による漏水や地域環境の変化による断面不足が生じているため、農地の集約や効率的な営農体系に支障をきたしています。

野町地区では、本事業を契機に、個別農家から担い手農家への集積・集約を促進し、水稻のほか高収益作物栽培（白ネギ等）にも取り組みたいと考えています。**また、谷口地区では、未整備で狭小区画の農地が過半を占めているため、大区画化（基盤整備）することで、担い手農家への集積・集約を促進し、併せて、高収益作物栽培（さといも等）に取り組み、複合的な営農を展開したいと考えています。**

つきましては、農業農村の持続的な発展のため、次の事業の新規採択に格段のご配慮をお願いします。

1. 農業競争力強化農地整備事業

のまち
野町地区 (継続要望)

2. 農地中間管理機構関連農地整備事業

たにぐち
谷口地区 (新規要望)



老朽化した排水路で生き物調査を実施
〔令和5年7月〕(野町地区)



谷口地区(計画面積 11ha)の未整備田の状況

26. 県営農業農村整備事業の継続促進

(農林水産省・富山県)

農業農村整備事業は、農地や農業水利施設の整備、保全及び農村の振興に重要な事業です。

つきましては、現在、整備中の下記事業について、早期効果発現のため、引き続き促進されるよう格段のご配慮をお願いします。

1. 農地整備事業

ひがしなかのしん

東中野新地区 (R6～)

(継続促進)

しだにお

四谷尾地区 (R7～)

(継続促進)

2. 水利施設等保全高度化事業

常東合口幹線地区 (幹線用水路・R8～)

(継続促進)

横江2期地区 (水利システム・R9～)

(新規要望)



幹線水路の改修
(常東合口幹線地区)



大区画化
(R6から
実施中)

大区画化へ (東中野新地区)



パイプライン化
(R7から実施中)

用水路のパイプライン化へ
(四谷尾地区)



耐用年数を超える電気設備
(横江2期地区)

27. 中山間地域の振興及び鳥獣被害防止対策の充実と強化

(農林水産省・富山県)

中山間地域は、水源かん養・洪水防止などの多面的機能を有し、国民の生命・財産を守る役割を担っていますが、高齢化や人口減少に伴い、多面的機能の発揮に不可欠な農地・水路等の管理が困難な状況です。

このような中、これまで東谷地域では、中山間地域等直接支払交付金を活用した農地の保全活動及び棚田地域振興加算による担い手確保・生産性向上・関係人口拡大に係る活動を行ってきました。同交付金の第6期からは、新たに**中山間地域等直接支払連絡協議会を中心としたネットワーク化やスマート農業機器の活用**に取り組んでおり、草刈りや有害鳥獣対策等の課題に対し、地域が活動を継続していくための体制づくりを進めています。

また、令和5年6月の豪雨災害から農地の復旧が完了したことから、**最適土地利用総合対策事業**を活用し、地域住民が将来の農地利用のあり方を考えながら、山椒など省力作物の実証を通じ、地域が賄える労力の範囲で持続できる保全利用の形として、農地の粗放的利用にも取り組んでいます。

そのほか、鳥獣被害防止総合対策交付金により、イノシシ等有害鳥獣の侵入防止対策やICTを活用した捕獲強化の取組を進めつつ、ジビエ利用の拡大も推進しています。

つきましては、中山間地域の農地保全及び地域力向上のため、次の事項について格段のご配慮をお願いします。

1. 「中山間地域等直接支払交付金」・「農山漁村振興交付金」の予算確保

(継続促進)

2. 「鳥獣被害防止総合対策交付金」による鳥獣被害防止の充実・強化

(継続促進)

令和8年度 中山間地域等直接支払事業（計画）

集落 協定名	交付金対象面積・加算措置								交付金額 (円)
	総面積 (㎡)	棚田加算 (超急傾斜)	超急傾斜 面積 (田 1/10)	棚田加算 (急傾斜)	急傾斜 面積 (田 1/20)	緩傾斜 面積 (田 1/100)	ネット ワーク 化加算	スマー ト農業 加算	
		35 円/㎡		31 円/㎡	21 円/㎡	8 円/㎡	10 円/㎡	5 円/㎡	
目桑	114,306				114,306	0	○	○	3,686,262
四谷尾	460,596			○	194,385	266,211	○		9,155,623
白岩	282,416				20,756	261,660	○	○	4,823,652
中蔵	55,526				13,202	42,324	○	○	1,415,568
芦見	127,937	○	23,188	○	104,749	0	○		4,786,736
谷口	113,276			○	14,768	98,508	○		1,959,148
六郎谷	39,239			○	39,239	0	○		1,608,799
虫谷	62,343	○	10,045	○	40,946	11,352	○		2,261,089
谷	33,696			○	11,855	21,841	○		879,193
座主坊	35,849				35,849	0	○	○	1,290,564
合 計	1,325,184	2 組織	33,233	6 組織	590,055	701,896	10 組織	4 組織	31,866,634



東谷地区の棚田風景



小学生によるサツマイモの苗植え体験



ドローンによる農作業



景観作物の植栽

立山町の有害鳥獣捕獲実績と農作物被害額の推移

	捕獲頭数（頭）		農作物被害額 （万円）
	イノシシ	ニホンジカ	
令和7年度	122(33)	2(1)	49.8
令和6年度	164(41)	14(2)	277.5
令和5年度	127(35)	7(2)	155.0
令和4年度	199(31)	14(5)	436.0
令和3年度	127(15)	12(3)	411.2
令和2年度	138	5	493.1
令和元年度	138	0	861.6
平成30年度	43	0	355.9
平成29年度	55	0	497.4

（ ）内は捕獲頭数のうちジビエ利用の頭数



有害鳥獣の捕獲活動



イノシシ侵入防止パネル柵

28. 学校施設危険改築等に係る補助単価の引き上げ

(文部科学省)

立山町では、建築から40年以上を経過した学校施設が複数存在しており、建築部材の経年劣化による安全面及び機能面での不具合が深刻な課題となっています。それにより、今後増加が見込まれる危険建物の改築事業等が必要となりますが、**実際の工事に要する経費と国の補助単価に隔たりがある**ことから、町の財政負担の増加が見込まれます。

学校施設は、災害発生時には当該地区の住民だけではなく多くの避難者を受け入れる避難施設となる場所でもあり、避難者の安全確保の点からも早期の改修が必要です。

つきましては、より良好な教育環境の実現と防災機能を維持できるよう、**学校施設環境改善交付金の所要額の確保**、屋内運動場改築、校舎長寿命化改良に係る財政支援及び、**実情に合った補助単価の引き上げ**について、格段のご配慮をお願いします。

(継続促進)

【(令和8年度) 学校施設環境改善交付金】

危険改築	補助単価	351,310 円/㎡	※1
実工事費	単 価	655,875 円/㎡	※2

※1 令和8年度建築単価(326,800 円/㎡、屋体、鉄骨造)を基に算定

※2 実際に掛かる工事単価

【釜ヶ淵小学校屋内運動場 危険改築事業 想定事業費】

総事業費	524,700 千円
交付金	154,576 千円 (補助率 5.5/10)
改築面積	800 ㎡

【交付金(危険改築)活用の場合】国負担:222,856 千円(42%)

町負担:301,844 千円(58%)

総事業費:524,700千円				
学校教育施設等整備事業債 (充当率90%、交付税措置率60%)			学校教育施設等整備事業債(継ぎ足し単独) (充当率75%、交付税措置なし)	
補助対象事業費:281,048千円			対象外事業費:243,652千円(継ぎ足し単独)	
154,576	113,800	12,672	182,700	60,952
	68,280	45,520		
交付金	地方債		地方債	
	交付税措置	地方負担	地方負担	
最終国負担 79.3%		最終地方負担 20.7%	最終地方負担 100%	

29. 県道富山立山公園線の全線4車線化の早期整備 及び県道昇格

(富山県)

令和6年3月に常願寺川に架かる富立大橋の4車線化整備が完了し、上下流に架かる橋の渋滞が緩和されました。しかしながら、この幹線道路沿線付近では、**商業施設の進出や企業立地が今後も進むことから、より円滑な幹線道路ネットワークを形成するために1日も早い全線4車線化が必要です。**

また、本路線は富山市中心部と立山インターチェンジを結ぶ緊急輸送道路として、一体的な管理が必要です。

つきましては、横沢交差点から二ツ塚交差点までの**全線4車線化の早期整備及び立山インターチェンジに接道する県道富山立山魚津線までの区間の県道昇格**について、格段のご配慮をお願いします。

(継続促進)

- | | | | | |
|---------|--------------|---|--------------|------------------------|
| 1. 整備促進 | りた
利田 | ～ | ふたつづか
二ツ塚 | 延長L=1.8km |
| 2. 県道昇格 | ふたつづか
二ツ塚 | ～ | つじ
辻 | 延長L=1.7km
(町道二ツ塚辻線) |

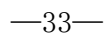
【朝の通勤時間帯の混雑状況】



1. 横沢交差点
富山市から立山町方面の状況



2. 二ツ塚交差点
立山町から富山市方面の状況



30. 緊急輸送道路沿道における立木伐採の推進

(富山県)

県道富山立山公園線は、緊急輸送道路として指定されており、災害発生時においては、避難・救助をはじめ、物資供給等の応急活動のために、**緊急車両の通行を確保すべき重要な路線**とされています。

しかし、一部区間においては、沿道の立木が道路に覆いかぶさるように林立しており、冬期間は枝からの落雪が通行車両を直撃する事故が発生するなど危険な状態となっています。

また、地震や台風、豪雪などの自然災害を要因とした倒木により、道路の寸断が予想され、枯損木化の進行とともに、孤立集落や電線遮断による停電の発生も今後ますます危惧されます。

つきましては、このような災害発生時における住民等の二次被害を未然に防ぐため、**当該県管理道路の防災対策に資する予算を積極的に充当いただき、主体的な立木伐採に取り組まれますよう**、格段のご配慮をお願いします。

(継続促進)



31. 県管理河川に架かる管理者不明橋梁の橋梁トリアージの実施

(富山県)

立山町では、町内の県管理河川に架かる管理者が不明な橋梁について、現在 32 橋を確認しています。

これらの橋梁は、定期点検や補修などの維持管理がされずに放置されたままとなっており、老朽化の進行による落橋のおそれがあるほか、近年頻発する豪雨により河川が増水した際、橋に流木等が引っ掛かり、氾濫の原因になるなどのリスクが懸念されます。

町では、令和8年度から町内の管理者不明橋梁の点検を計画的に実施し、点検で把握した健全度とその橋梁の利用状況などを踏まえ、撤去も選択肢に入れた必要な対応を実施する予定です。

つきましては、増水時などに河川の流れを阻害し、河川管理上支障を及ぼす可能性がある県管理河川に架かる管理者不明の橋梁について、健全度評価、設置者、管理者の調査を実施のうえ、適切な維持管理や撤去等の対策を要望します。

(新規要望)

- | | | | |
|--------|-----------------|-----|----------------|
| (主な箇所) | 1. 管理者不明橋 (白岩川) | 立山町 | 白岩地内 |
| | 2. 管理者不明橋 (栃津川) | 立山町 | こんごうじ
金剛寺地内 |
| | 3. 管理者不明橋 (栃津川) | 立山町 | のまち
野町地内 |

県管理河川	管理者不明 橋梁数
栃津川	6橋
高野川	13橋
寺田川	1橋
虫谷川	2橋
白岩川	1橋
和田川	3橋
黒谷川	4橋
宮谷川	2橋
計	32橋

(令和8年3月末現在)



1. 管理者不明橋 (白岩川)
立山町 白岩地内
橋長 25.0m、幅員 2.6m



2. 管理者不明橋 (栃津川)
立山町 金剛寺地内
橋長 14.1m、幅員 2.6m

32. 称名滝までの観光ルートへの安全対策の促進

(富山県)

北陸自動車道立山インターチェンジから立山黒部アルペンルートへ通じる道路は、観光ルートの大動脈として利用されています。その中でも、称名滝を訪れる多くの観光客が通行する**県道富山立山公園線（藤橋～桂台）**、**県道弘法称名立山停車場線（桂台～飛龍橋）**及び**称名園地遊歩道（飛龍橋～滝見台園地）**は、これまでも倒木・落石等により頻繁に災害が発生し、**通行障害**が生じることもあり、こうしたことが無いよう安全対策の徹底のため、継続して事業促進を要望してきました。

称名滝を訪れる観光客や登山者等が**安全安心かつ安定的に通行**できるよう、今後とも**万全な落石・雪崩対策の予算確保**に格段のご配慮をお願いします。

(継続促進)



33. 称名地区の持続可能な管理体制の構築

(富山県)

称名滝は、日本一の落差を誇り、国内外から年間約15万人の観光客が訪れる富山県を代表する観光地です。町では、称名滝へのアクセス道路である一般県道弘法称名立山停車場線こうぼうしょうみょうの通行管理や、称名地区自然公園の施設管理を富山県から受託しています。

しかし、施設管理に携わる人員の高齢化が進み、必要な人材の確保が年々難しくなっており、これまで行ってきた通行規制業務や除草、清掃業務の継続が厳しい状況となっています。

つきましては、**デジタル技術を活用した業務の効率化や施設管理の外部委託化も含めた環境整備に必要な予算の確保**をお願いします。

また、令和8年5月に遊歩道内でクマによる人身被害が発生したことから、クマ被害防止対策のための財源確保が必要となりました。そのための一手段として、**称名平駐車場の有料化の早期実施に向け、必要な手続きについて格段のご支援をお願いします。**

(新規要望)



◎効率化を検討いただきたい業務

称名道路 通行規制業務	・ 桂台ゲートの開閉 ・ 雨量規制等による臨時閉門
----------------	------------------------------

◎外部委託を検討中の整備内容

称名地区自然 公園施設管理 業務	・ 園地・駐車場等の除草
------------------------	--------------



34. 立山駅周辺の環境整備・安全対策と予算確保

(1) 千寿ヶ原駐車場内の樹木剪定や防除、伐採のための予算確保

(富山県)

立山駅前に立地する千寿ヶ原駐車場については、令和8年度から町が県から管理を受託し、立山駅周辺の環境整備、活性化施策の財源とするため令和9年度からの有料化に向けた協議を進めているところです。

しかし、同駐車場では、**令和4年にマイマイガが大量発生**し、観光客を不快にさせる事案があり、また、**大きくなった樹枝が車に落下し損傷させる懸念**もあることから、樹木の管理が課題となっています。

立山黒部アルペンルートを訪れる多くの観光客が安心して利用できるよう、**駐車場内の樹木剪定や防除、伐採に関する費用の予算確保**をお願いします。

(継続促進)



(2) 富山上滝立山線のサル対策

(富山県)

立山駅から真川大橋を渡った富山市側の県道富山上滝立山線では、**多数のサルが頻繁に出没し、車の通行に支障**をきたしています。

また、町ではE-BIKE等の二次交通手段を活用し、立山山麓エリアを含めた立山駅周辺の活性化に取り組んでいることから、**出没したサルによる観光客への危害**も想定され、危険な状況となっています。

そのような中、町としてはサルの追い払いを目的に、地元の千寿ヶ原区長に空気銃を貸し出していますが、**出没数は増加傾向**にあります。

つきましては、市町村が区域を越えてワンチームで対策を講じることができるよう、**県が主体となり連携体制の構築**を推進いただきますようお願いいたします。

(継続要望)



立山駅周辺の道路上に出没するサル



県道富山上滝立山線

35. 豚熱まん延防止対策事業（捕獲強化活動費）の継続

（富山県）

令和元年7月に富山県内で初めて野生イノシシ豚熱感染が確認されて以降、イノシシ捕獲処分時の防疫措置の徹底に加え、県とともに豚熱ワクチンの散布事業に取り組んできました。また、野生イノシシ捕獲強化活動費の県単上乗せ支援（7,000円／頭）を受け、捕獲活動を強化しています。

しかし、令和7年度は、立山町において1個体から豚熱感染個体が確認されたほか、県内においても野生イノシシにおける豚熱の感染確認が続いており、依然として豚熱の終息が見通せない状況にあることから、県下全域で捕獲強化を継続していく必要があります。

つきましては、**豚熱まん延防止対策事業（捕獲強化活動費）の上乗せ補助が継続的に行われるよう**に格段のご配慮をお願いいたします。

（継続促進）

【イノシシ捕獲実績】

年度	捕獲頭数
令和7年度	122 頭
令和6年度	164 頭
令和5年度	127 頭
令和4年度	199 頭
令和3年度	127 頭
令和2年度	138 頭
令和元年度	138 頭



イノシシの捕獲活動

36. 農業用水路安全対策事業の推進

(富山県)

近年の相次ぐ農業用水路の転落防止事故に対し、県では令和元年12月に、効果的な事故防止対策の方向性を示す「富山県農業用水路安全対策ガイドライン」を策定されました。

町においても、このガイドラインに沿って、国・県の支援のもと、転落事故を未然に防止する取組を進めています。これまでに、各集落や土地改良区から要望のあった21箇所の危険箇所について**約4,435mの転落防止柵を整備**しました。しかしながら、地元等から転落防止柵の設置に関する要望が絶えず、令和8年度も約90mの追加整備に事業着手していますが、要望のあったすべての危険箇所について対策を講じることが困難です。

つきましては、**国の農村地域防災減災事業等**を活用し、**農業用水路の転落防止事故を未然に防ぐ**ため、引き続き事業への支援に格段のご配慮をお願いします。

(継続促進)



整備前



整備後



住民と危険箇所の把握

安心 安全 に暮らせる立山町へ

1 転落防止柵を設置

近年、富山県内において農業用水路への転落事故が多発しています。そのため、町においても、令和2年度より国の補助事業を活用し、転落防止柵(ガードパイプ)の設置に取り組んでいます。令和2～4年度の間に、町内17箇所、総延長3,780mの転落防止柵を設置しました。

☎ 農林課農地林務係
076-462-9974

▲散歩も安心。柵の転落防止柵

**農業用排水路への転落事故を未然に防ぐ、転落防止柵
広報立山(令和5年3月)**

37. 救急搬送における選定療養費の運用

(富山県)

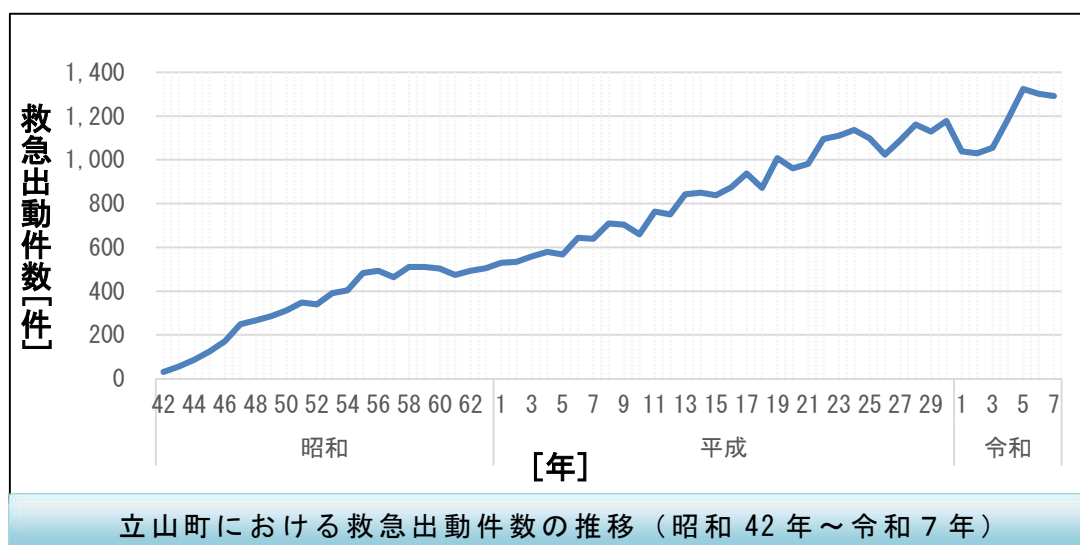
緊急性の低い救急搬送が全国的に問題となっている中、立山町の救急出動件数は、昭和42年の32件から年々増加しており、令和7年には1,292件になるなど、**救急医療現場のひっ迫が懸念**されています。

現状、富山県内の多くの病院では、救急搬送者は一律に緊急性が高いとみなし、選定療養費の請求対象外としていますが、他県では、**救急搬送されたものの入院に至らなかった患者に対しては選定療養費を徴収**する仕組みを試行的に導入し、**緊急性が低いと認められる救急出動件数が減少**するなど、成果を上げているところもあります。

町では、救急車を呼ぶかどうか判断に迷った場合に電話で相談できる「#7119」や子ども医療電話相談「#8000」の電話相談窓口の周知に努め、緊急性の低い救急要請を抑制する取組を実施していますが、明らかな抑制効果はみられません。

つきましては、先行県の事例を参考に、**緊急性が認められない救急搬送者に対して、県として統一した選定療養費を徴収する仕組みを構築**するよう要望します。

(継続促進)



救急車を呼ぶ？ 迷ったときは
病院へ行く？

5月7日(火) スタート

救急医療電話相談 ☎ #7119 へ

急なケガや病気で、救急車を呼ぶべきか、病院に行くべきか判断に迷ったとき、経験豊富な看護師などの相談員から、医療機関への受診の必要性や対処方法などのアドバイスが受けられます。

相談時間

平日 ▶ 19時～翌日午前9時
土曜日 ▶ 13時～翌日午前9時
休日 ▶ 24時間（日曜・祝日・年末年始など）

▶ ☎ #7119 がご利用できない場合 ⇒ ☎ 076-444-4099

▶ 15歳未満のお子様は子ども医療電話相談 ⇒ ☎ #8000

▶ ☎ #8000 がご利用できない場合 ⇒ ☎ 076-444-1099

電話相談窓口「#7119」、「#8000」の利用推進（広報立山 令和6年5月）

38. 雄山高校の存続と魅力向上施策の推進

(富山県)

「新時代とやまハイスクール構想検討会議」の開催も回数を重ね、令和11年度頃を目途に、現在の34校から30校に減らすことが確認され、大規模校の位置などが早くも取りざたされています。

立山町では、町内唯一の県立高校である雄山高校の存続をかねてから訴えてきており、令和2年9月には雄山高校と「包括連携協定」を締結し、普通科で週1回の「総合的な探究の時間」に、観光やまちづくり分野の第一人者を講師とした講演会の開催や町の課題探究活動など、町についての学習を支援しています。

また、立山まつりをはじめとした町のイベントなどにも雄山高校生に協力いただいております、こうした活動が、町にかかせない高校として地域からの期待を集めています。

誰もが高校へ進学するこの時代において、保護者の経済的負担に配慮し、どこに住んでいても自転車で1時間以内で通える場所に高校は配置されるべきです。雄山高校は、富山市東部や上市町から自転車で通え、悪天候時は富山地方鉄道の電車やバスがあります。通学時間に加えて通学費用の面からも生徒の選択肢となり得る高校と言えます。

立山町議会では、令和8年3月議会定例会において「「新時代とやまハイスクール構想」の進め方に対しての意見書」(1. 富山県立雄山高等学校を、存続すること 2. これまでどおり各市町に1校は確実に残すこと 3. 高校再編は地域の声を真摯に受け止め、慎重に進めること)とする、新田知事宛ての意見書を全会一致で可決し、提出しております。

こうした実情を踏まえ、雄山高校を存続させ、選ばれる県立高校として魅力向上施策を展開していただきますよう要望いたします。

(継続促進)

39. 信号機の予算確保

(1) 通学路の安全確保

(富山県)

通勤や通学の際に、道路を横断する児童・生徒や地域住民の安全を確保することは重要な課題です。

近年の宅地造成に伴い、児童・生徒が増加している通学路の安全確保のため、町では交差点内の滞留スペースに安全柵を設置する等のハード対策を実施しています。しかしながら、特に交通量が増加傾向にある当該地区において、歩行者が安全に道路を横断するために最も有効な信号機の設置については、上市警察署を通じて上申していますが、実現には至っていません。

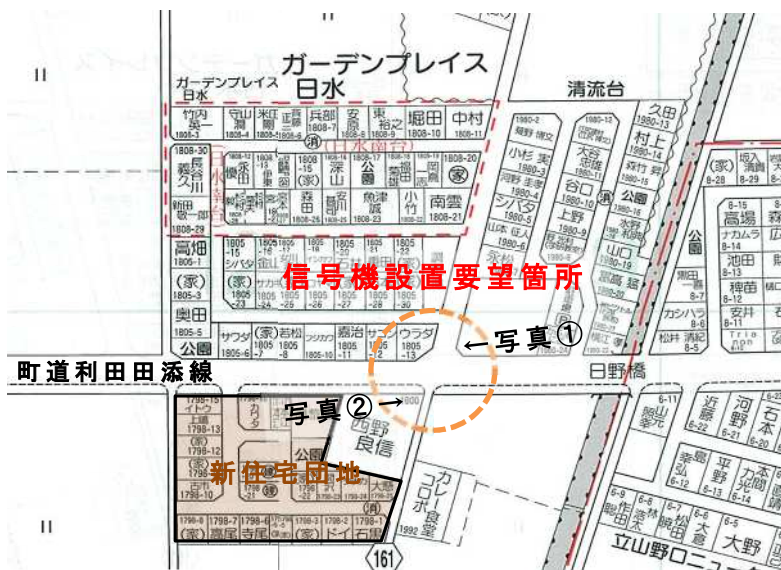
つきましては、「信号機設置の指針」に基づく適切な整備の推進と予算の確保について、格段のご配慮をお願いします。

(継続促進)

(主な箇所)

一般県道岩嶺寺大石原水橋線と町道利田田添線の交差点（利田地内）

【位置図】



【写真①】



【写真②】



一般県道岩嶺寺大石原水橋線と町道利田田添線の交差点（利田地内）

(2) 企業団地の車両通行の円滑化

(富山県)

国道8号線と直結し、また、主要地方道富山立山公園線と交差する「主要地方道富山外郭環状線」は、近年、特に利田地内で企業立地（令和6年度：立山製薬工場株式会社第2工場、**令和9年度：株式会社タイヨーパッケージ工場（増設）が操業予定**）が進んでおり、物流を支える車両及び多くの従業員が利用しています。現時点において企業団地を構成する事業所の代表者からは、この企業団地の事実上の出入口である「町道曾我線」との交差点において、慢性的な渋滞解消と従業員の安全確保のため、信号機の設置を強く要望されています。

つきましては、一日も早く信号機を設置いただきますよう要望します。

(継続促進)

(要望箇所)

主要地方道富山外郭環状線と町道曾我線の交差点（利田地内）

